

2025年度 京都教区教化研修計画概要

教区教化テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」

サブテーマ「新教区教化体制の確立・出会いと交流」

教区改編後、新体制による教化本部体制が発進され、企画室を中心とした新たなる取り組みがはじまった。企画室では、教区教化が地区ならびに組の教化の活性化に資する役割となるべく、教区と地区と組が連携していく手立てについて協議を重ねてきた。あわせて、新たなる京都教区の教化体制の確立に向け、教区の教化事業が広域に届く手立ても考えていく。

また、「特区・地区ネットワーク会議」（寺院活性化支援室）、「特区・地区・組巡回懇談会」、「男女共同参画推進プロジェクト」等の取り組みにかかる新たなるビジョンについて、その計画にかかる話し合いを進めてきた。今年度からは、「男女共同参画推進プロジェクト」を発進するとともに、「特区・地区ネットワーク会議」の具現化に向けて取り組みを開始していく。

あわせて、これまで両教区で取り組まれてきた「得度事前学習会」「組門徒会研修会」「同朋の会推進講座」の新たなるカリキュラム策定にかかる検討を行ってきた。いずれの教化事業も、原点回帰する視座を見据え、実施開催される趣旨と願いを省みていく中で、特に「組門徒会研修会」と「同朋の会推進講座」は、組で開催されることも考え、一々の事業を丁寧に取り組まれていくよう、組長ならびに地区教化委員長と連携し協力体制の構築を基調として教区全体で取り組む方向性を共有していきたい。

三部会（研修講座部会・青少幼年部会・出版部会）では、「出会いと交流」の具現化を考え、有縁の人と出会い、人を通して教えに出遇う方策を考えながら、事業の展開が試みられてきた。今後も、充実した出会いを創造していく教化事業の計画を進めていきたい。

【教区重点教化施策】

- 1、「男女共同参画推進プロジェクト」を開始する
- 2、「特区・地区・組巡回懇談会」の更なる展開を図る
- 3、「特区・地区ネットワーク会議」（寺院活性化支援室）を開始する

【特区・地区ネットワーク会議】

寺院・組・地区で求められる教化について、教化の必要性和課題を明確にし、共通の課題や中長期にわたる教区教化の方向性を見出すことが必至であり、広域教区となったことで、教区の教化事業が特区や地区で開かれていくことが求められている。また、地区や組で求められている教化に対応していく手立てを考えていく「ネットワークプランナー」（教区支援員）によるプロジェクトチームを組み、「特区・地区ネットワーク会議」と題して、点から線へ、無数の線が編み出す網の目のような人と教えが通い合うネットワーク構築を目指す。

◆教区、特区・地区が協働していくネットワーク構築に向けた取り組み

教区全体の教化を進める上で、構成メンバーの多くが広域に広がっているため、互いに意思疎通を図ることが困難になることが考えられる。そこで、私たちが教区に対する「所属意識」を持ち、主体的に教区に関わり、取り組めるようにするため、「特区・地区教化委員長会」「特区・地区・組巡回懇談会」ならびに「特区・地区ネットワーク会議」を開くこととする。これらの取り組みを通じて、中長期的な視点に立ち、各寺院での取り組みが線となり、その線が網の目のような面となることで、人と人が往来し、情報が伝達していくネットワークの構築を目指す。

京都教区 教化方針

【教区教化の理念と具体的な取り組みの姿勢】

1、「出会いの場」を創造する

さらなる人との出会いの場の拡がりをお願いとし、教化本部に所属する3部会「研修講座部会」「青少幼年部会」「出版部会」が具体的な教化事業を担うこととなる。広域な教区にとってその教化活動は、学びの場であるとともに様々な背景を持つ教区人の出会いの場でもある。多くの教区人が、それぞれの抱える教化の現場を、より豊かな聴聞の場として開かれるよう、その支えとなる場の創造を期する教区教化の働きを具体化させる。

2、「教化とは何か」を憶念する〔原点回帰〕

教区教化は何のためにあるのか。また、教化事業は誰のためにあるのか。親鸞聖人の念仏の教えに立ち帰り、私たちが学ぶべき原点を明らかにしていく必要がある。「なぜ、仏法を学ばねばならないか」という、そこに込められた願いを聞きたずねる営みを教化本部から発信し、有縁の人と共有していきたい。

3、「男女共同参画」の広がりと深まりを目指す

男女の区別で見ていくこれまでの発想を省み、私たち一人ひとりが、人として本当に等しく、大切にされていく社会をどう作っていくのか。本来的に男女が社会において共同していきける環境づくりならびに、男女が共同でものごとを考え、決めていく仕組みづくりを念頭に置き、「教化本部」を中心に、「理念の広まりと共有」ならびに「部会等での学習研鑽」に取り組んでいく。

4、「地域との連携と課題共有」を図る〔共同教化・循環する教化〕

特区・地区、組の教化の現況と課題を聞き取り、連携の充実を図り、教区の教化委員が出向き、特区・地区間、組間の交流を通して、人が行き来し、教えが循環する手立てを検討していく。

5、「教区教化は、教区人の手で」「自分ごと」になる教化を目指す

教区で取り組まれるあらゆる事業が、教えを相続する「出遇い」の場としてはたらくか、という一点に掛かっていると考える。そのことを具現化する意味で、今まで両教区が大切にしてきた歩み、「教区教化は、教区人の手で」「自分ごと」になる意識改革を目指す地道な取り組みを大切にしていく。

2025年度 京都教区 教化事業計画

1. 教区教化委員会

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
教化委員会「総会」 年間の全教区教化事業の報告及び総括点検、並びに教化本部で策定された次年度の教区教化研修計画概要、教化方針、各部会の教化事業計画（案）の承認の場として開催する。	教区教化委員会委員	京都教務所	2026/5/29
1-11-1 【予:272,000 円】			

2. 教化本部

(1)教化本部会

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
教化本部会議 ①企画室での会議で協議確認された事項（素案・相談事項等）の確認確定を行う。 ②各部会での課題・相談事項を検討する。 ③男女共同参画に資する理念の具現化にむけた計画を行う。 ④教区・地区における「循環する教化」を目指すシステム構築に向けた計画を行う。	企画室委員 部会幹事	京都教務所	2025/9/9 2025/12/3 2026/3/17 2026/5/17
1-11-2 に予算化			
教化調整協議会 各部会・教区所属団体・部落差別問題に学ぶ同朋協議会で実施される教化事業の報告・連絡及び確認と共有を図り、教区内で展開される教化事業の連携の強化を図る。 また、全ての教区教化事業について確認・検討作業を行うとともに、各部門との連携を図り、相互に「報告・連絡・相談・共有」を行うセクションとして意見交換と交流の場とする。	企画室委員 部会幹事 部落差別問題に学ぶ同朋協議会会長 所属団体の長	京都教務所	2025/12/3 2026/3/17
男女共同参画に学ぶ学習会 会議の際に表記学習会の場を持つ。			
1-1-1 【予:212,000 円】			
地区教化事業 ①地区聖典学習会 ②地区同朋大会	各地区 僧侶・門徒・一般	各地区開催	各 1 回
①1-8-1 【予:270,000 円】 ②1-9-3 【予:1,290,000 円】			
教化本部・部会委員 合同連絡会 教化本部員、並びに全部会委員による事業の確認を行う。	企画室委員 部会幹事 部会委員	京都教務所	休止

(2)企画室

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
企画室会議 所管業務に資する協議検討を行うとともに、教区教化全般における諸々の協議会等の企画立案作業を遂行する。	企画室委員	京都教務所 リモート会議	原則、月 1 回
1-11-2 に予算化			
教区同朋会議 「教勢調査教区学習会」（仮称） 宗派並び教区・組の教化に資する現況と課題を学び、新たな展望に向けて考えていく機会としたい。	未定	未定	2025/12 or 2026/1
「是施陀羅」問題教区学習会 解放運動推進本部主催による表記学習会を教区にて開催。部落差別問題に学ぶ同朋協議会と連携して、教区内の僧侶・門徒と共に学ぶ場を開く。	未定	未定	2026/4/21（予定）
1-2-1 【予：958,000 円】			
特区・地区 教化委員長会 特区・地区教化事業及び長浜教化センター並びに地区教化委員会の現況と課題等の共有を図るとともに、意見交換・交流の場として開催する。	企画室委員 特区・地区教化委員長	京都教務所	2026/4/21
1-11-2 に予算化			
特区・地区・組 巡回懇談会 「出向く教化」の具現化を目指し、特区・地区・組で懇談を開く。実施後に報告書「ひこばえ」を発行し、教区内に共有する。	企画室委員 (実行委員)	寺院・教会等	適宜開催
1-2-2 【予：258,000 円】			
教区 HP 運営 教区の別院・寺院紹介をはじめ、教化事業の予定や実施状況について発信していく。教化広報誌『教区だより』の掲載、並びに法話、講義、講演の映像も配信する。			
1-1-2 【予：1,350,000 円】			

◆長浜教化センター事業

事業名	趣旨・内容	対 象	会 場	期 日	講 師
特区同朋大会	2025 年度の同朋大会は、五村別院を会場に開催する方向で計画予定。	寺 族・門 徒 一 般	五村別院 または 浅井文化ホール	2026/5/17	黒萩 昌 (北海道教区 法誓寺)
	1-7-1 【予：400,000 円】				
組教導 連絡協議会	組教導の任期の代わり目の年となり、新旧の組教導に向けた協議会をそれぞれ開催していく計画としていく。	組教導 教化本部員	大谷会館 講堂	①2025/11/19 ②2026/6/2	—
	1-7-2 【予：40,000 円】				
施設法話	特区内 9 介護施設における月例法話会への講師派遣。	【特区内施設】 9 施設	各施設	施設の希望月に開催	【施設法話講師】 有賀尚子・七岡朋子 河崎顕祐・武田晃威 達伊優香・足利弘樹 山田孝夫・早寄和典 森 清隆・古松了祐 西野健太郎
	1-7-3 【予：270,000 円】				
施設法話 講師会	講師同士の連絡報告と課題共有を図るとともに、意見交換と交流の場として開催する。	施設法話 講 師	大谷会館 講堂	2025/6/27	
	1-7-3 【予：30,000 円】				

3. 部会

(1) 研修講座部会

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
部会会議 部会員が中心となって所管事業の計画を行う。なお、諸研修開催の場合に、実行委員会を設けることができる。	部会委員	京都教務所 リモート会議	随時開催
男女共同参画に学ぶ学習会 会議の際に表記学習会の場を持つ。			
1-11-2 にて予算化			
伝道研修会 2年1期：計6回の研修会の後半の実施となる。真宗の教学を研鑽するとともに、現代における伝道のあり方を学習し、時代を担う僧侶の研修を行う。 ・講師：黒萩 昌 氏（北海道 南第3組 法誓寺）	有教師 一般	京都教務所	④1/20・21 ⑤2/17・18 ⑥3/12・13
5-1-1【参加費：150,000円】1-3-1【予：1,870,000円】			
教師試験検定準備学習会 教師試験検定に向けて真宗学・仏教学・教化学・声明作法・宗教法規についての準備学習を行う。	一般	京都教務所	①8/21・22 ②2/26・27
5-1-1【参加費：680,000円】1-3-2・1-3-3【予：480,000円】			
得度事前学習会 得度の意義と大谷派の僧侶としての基本的な声明儀式作法を習う。2025年度は、2会場（長浜・京都）で開催する。2026年度から新たなカリキュラムで実施し、1会場にて開催していく予定。	得度受式 予定者	長浜教務支所	事前説明会：2/11 学習会：3/25～27
	一般	京都教務所	3/25・26
5-1-1【参加費：225,000円】1-3-4【予：470,000円】			
拾学舎 真宗大谷派僧侶としての基礎的な「教学」と「声明作法」の学びの場を開く。土曜開催とすることで、普段研修会に参加できない方に学びの場の開催に向け、事業設置の願いを確認し、実施に向けて開催方法を見直す。	教区内僧侶 坊守・准坊守 ほか	京都教務所	休止
組門徒会研修会 組門徒会員対象の研修として各組で開催。 宗派の組織機構や宗門の歴史を通して、組門徒会員の使命と任務を確認する。なお、企画室にて新教区を機としたカリキュラムの調整及びスタッフ手引書の作成にかかる協議を行う。	組門徒会員	寺院・教会等	各組年2回
1-3-6【予：2,150,000円】			
同朋の会推進講座 住職と協力して同朋の会の結成・充実を推進する担い手（推進員）の誕生を願いとし、推進員と住職や若手寺族の方々が、共に聞法を重ね、生涯の友と出会える一カ寺一同朋の会の結成と充実を目的として、各組にて実施する。なお、企画室にて教区指定組の再設定を行うとともに、スタッフ手引書の作成に向けた協議を行う。	【指定組】 希望組 長浜第19組 長浜第21組	【前期教習】 寺院・教会等 【後期教習】 同朋会館	オリエンテーション：1回 前期教習：5回 後期教習：1回 (2泊3日)
1-3-7【予：2,400,000円】			

(2)青少幼年部会

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
部会会議 部会員が中心となって所管事業の計画を行う。 なお、諸研修開催の場合に、実行委員会を設けることができる。	部会委員	京都教務所 リモート会議	年 10 回 開催予定
男女共同参画に学ぶ学習会 会議の際に表記学習会の場を持つ。			
1-11-2 に予算化			
児童大会 教区内の児童を対象として開催。 1 泊 2 日で開催予定。	僧侶 門徒 一般	ビラデスト今津	2025 8/19・20
5-1-1 【参加費：250,000 円】 1-4-1 【予：1,660,000 円】			
青少幼年教化研修会 なぜ、青少幼年教化に学ぶのか。日曜学校や組で開催される青少幼年教化が誰のため、何のために開かれるのか。教区内の若手が青少幼年教化について共に学び、相互のつながりが生み出されていくことを願いとして研修会を開催する。講師：近藤 章 氏（九州教区 西心寺 前住職）	各組青少幼年 教化担当者 一般	京都教務所	2026 2/28・3/1
1-4-4 【予：1,001,000 円】			

◆長浜教化センター事業

趣旨・内容	対象	会 場	期日・回数
花まつり子ども大会 釈尊の御誕生をご縁とし、地域児童並びに教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催。花まつりを通して青少幼年教化の重要性を確認し、スタッフが学ぶ場として取り組む。	僧侶 門徒 一般	五村別院	2026/5/3
1-4-2 【予：420,000 円】			
子ども報恩講 親鸞聖人の恩徳を確かめ、地域児童ならびに、教区内寺院日曜学校に参加されている子どもを対象として開催。	僧侶 門徒 一般	五村別院	2025/12/7
1-4-3 【予：70,000 円】			
特区青少幼年教化代表者連絡協議会 特区の組の青少幼年担当者の情報交換と交流を主な目的として開催する。なお、教区と組の連携強化も含め「花まつり子ども大会」「子ども報恩講」のスタッフに参画いただき、自らの学びを組に持ち帰り、組青少幼年教化の連絡伝達、連動し循環していく起点としたい。	僧侶 門徒 一般	長浜別院	2025/9/18
1-4-4 【予：20,000 円】			
日曜学校教化教材作成 日曜学校等で使用できる教化教材を調製する。（出席カード・出席シール・缶バッジ等）	1-4-5 【予：30,000 円】		

(3)出版部会

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
部会会議 部会委員が中心となって『教区だより』の作成にかかる計画を行う。	部会委員	京都教務所	2回
1-11-2に予算化			
教区だより編集会議 教区教化広報誌『教区だより』の編集・発行にかかる業務を担う。新体制を機として「男女共同参画」に関する記事を文面に掲載し、教区内で課題の共有と学びの接点をもつことを目標の一項目とする。 【内容】 ・『教区だより』の編集。毎月1回発行。 ・誌面充実のため3班体制で交互に編集作業を行う。 ・「連載」執筆者の選定	部会委員	京都教務所 リモート会議	月1回
男女共同参画に学ぶ学習会 会議の際に表記学習会の場を持つ。			
1-5-1【予：1,900,000円】			
教区だより公開講演会 文書伝道の在り方を考え、編集出版・寺報作成に役立つ「文章での伝え方」を共に学ぶ研修会として開催を検討する。	僧侶 門徒 一般	京都教務所	年1回
1-5-2【予：150,000円】			
教化伝道冊子発刊 教区内研修会の講義録や『教区だより』連載を教化伝道冊子として発刊する。	一般	—	年1回発刊
1-5-2【予：200,000円】			

教師陞補対象研修会一覧

事業名	種別	備考
地区聖典学習会	第1種	
伝道研修会(研修講座部会)	第2種	
共学研修院 公開講座	第1種	
部落差別問題に学ぶ同朋協議会 教区研修会	第1種	
特区・地区部落差別問題研修会	第1種	

◆寺院活性化支援室

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
「特区・地区ネットワーク会議」 教区と特区・地区との連携強化を図ることを目的とし、「地区教化委員長会」とは別プロジェクトチームを編成し、教区と特区・地区との教化連携とネットワーク構築に向けた協議を重ね「循環システム」の策定並びに目的達成に向け、ネットワークプランナーによる「プロジェクトチーム」を編成し、教区と地区を繋ぐべく、中長期的に協議を重ねる。構築に向けた独自の取り組みを行う。また、地区・組・寺院が求める教化のあり方に対して答えていく取り組みを考えていく。 必要性(ねらい) 京都教区の広域化に伴い、距離的な課題をはじめとして、教化事業の参加が難しくなるといった諸課題を改善していくことに主眼を置き、地区・組・寺院の教化を活性化の方途を考え、京都教区に所属する者としての自覚を醸成するとともに、出会いと交流の具現化に向けた取り組みをする場として設置する。 ネットワークプランナー(教区支援員) 寺院活性化支援員講習を受講し、講習で学んだ手法を通して、新たな教化のあり方を考えていく役割を担う人をネットワークプランナーと呼ぶ。なお、ネットワークプランナーは教区全体から選考し、ネットワークプランナーによって編成された「プロジェクトチーム」にて支援室での業務を進めていく。 目指す方向性 僧侶門徒が抱える課題や、求められる教化のあり方を承け、「教化の仕組み」「具体的な教化の展開」「進め方の手順」等、新たな教化のあり方を考え提案するとともに、特に地区を教化の現場として定着化していくことを目指す。 人材発掘・人の育成 特区・地区ネットワーク会議において、ネットワークプランナー同士が、共同で教化に対する多角的な学びや取り組みを通して、自身の学びとして養い、主体的に教化について考えていく人となられることを願いとする。	ネットワークプランナー(支援員)	京都教務所 リモート会議	適宜
1-12-1 【予：1,000,000円】			

◆教学研鑽機関

「共学研修院」

趣旨・内容	対 象	会 場	期日	講 師
公開講座 テーマ:③往生 ④浄土 ⑤念仏 仏法聴聞の場として開催。研修院生の学びことどもならず、どなたでも聞法いただける場として開く。	研修院生 一般	長浜教務支所	③7/11 ④12/5 ⑤6/19 ※⑥8/21	黒田 進 (長浜第14組 満立寺)
ゼミ演習:テキスト『歎異抄』 院長・指導より『歎異抄』の講義を受け、ゼミ演習(座談会)の場で学習していく。担当制で演習にかかる事前学習(レジュメ作成)を行い、レジュメを基にした発表・攻究の学びを行う。	研修院生	長浜教務支所	月2回	【院長】 黒田 進 (長浜第14組 満立寺) 【指導】 一色 孝 (長浜第13組 光西寺)
宿泊研修会 寝食を共にした研修を開催。最終年度となる今回は本山:同朋会館にて研修(2泊3日)を予定。	研修院生	真宗本廟 同朋会館	2026 1/9～11	澤面 宣了 (長浜第16組 浄願寺)
法話演習・法話実習 ゼミ演習での1年間の学びの発表として、両別院夏中「暁天講座」で法話演習を行う。	一般	長浜別院	2025 ①7/2 ②7/3 ③7/4 ④7/5	①伊吹 勇真 ②達伊 優香 ③増田和佳子 ④藤本 智
		五村別院	2025 ⑤8/5 ⑥8/6 ⑦8/7 ⑧8/8	⑤三山 岳 ⑥古松 了真 ⑦曾我 朋子 ⑧藤森 了英
特会【予:2,140,000円】				

◆部落差別問題に学ぶ同朋協議会 事業計画

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
総会・全体協議会(研修会) 当該年度事業の総括点検並びに予算審議。併せて、次年度の事業計画(案)に係る協議検討を行うとともに、適切な事業展開がなされているか確認される場として開く。また、全協議会委員の学習を深める場として、適宜研修会を併催する。	協議会委員	京都教務所	年1回
1-6-1【予：150,000円】1-6-2に予算化			
常任委員会 事業の確認並びに各班で取り組まれている内容の確認と共有の場として定期的に関く。教区全般における諸課題に係る協議検討を行い、部落差別問題の学習と理解共有の広がりや深まりの具体化を図る。併せて、広報活動を行うとともに、地区との連携も視野に入れた取り組みとするため、特区・地区代表者との連絡協議の場を設け、連携の強化を目指す。なお、解推主催の「是旃陀羅問題教区学習会」を経て、教区独自に実行委員会を設置し、「是旃陀羅」問題にかかる課題を継続的に取り組んでいく。	常任委員	京都教務所 リモート会議	4～5回
1-6-2に予算化			
教区研修会(学習会) 総会で開催する研修会同様、年3回の学習会を教区で行う。当研修会に係る計画は、協議会委員を3班に分け、様々な差別問題に学ぶ研修会を計画し、実施に向けた企画立案を行う。また、各班で学習・研修会のテーマを設けて、リモートを中心に会議を行い、テーマ別に企画運営、班主催で学習会の開催をする。併せて「是旃陀羅問題教区学習会」(輔註欄)を開催する。	協議会委員 3班体制	京都教務所 リモート会議	年3回
1-6-1【予：1,000,000円】			
特区・地区 部落差別問題研修会(助成事業) 特区・地区で研修内容やテーマを決めての研修会を行う	各地区 僧侶・門徒	寺院・教会等	年1回
1-8-1【予：450,000円】			

◆長浜特区内事業

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数
特区部落差別問題研修会 特区内の14ヵ組で「部落差別問題研修会」を行う。	僧侶 門徒	寺院・教会等	事前・本研修 各1回
部落差別問題研修会「講師会」 特区内講師間の連絡協議と講師自身の学習会として開催する。	部落差別問題 研修会講師	長浜教務支所	年2回
代表者協議会 特区内の各組より選出された代表者との連絡協議の場を開き、組間の連携と協同を図る。また、組における課題や問題点の共有を図り、共同して課題改善に向けた協議を行う。	組代表者	長浜教務支所	年1回
月例学習会 輪読を基調とした学習の場を月例で開催する。 ※毎月原則、第4金曜 19:00～21:00	僧侶 門徒	長浜教務支所	年12回

◆所属団体 事業計画

(1)教区坊守会<教区助成:550,000 円>※連区当番

趣旨・内容	対 象	会 場	期日	講師
役員会 所管事業にかかる協議・企画・立案を行う。	教区坊守会 役員	京都教務所 リモート会議	随時	—
常任委員会 役員会で協議検討した所管事業について確認・決定を行う。	教区坊守会 常任委員	京都教務所 リモート会議	随時	—
近畿連区坊守会(京都教区当番) 近畿連区坊守会一泊研修会の計画等を行う。	各教区正副 坊守会長	京都教務所	随時	—
真宗大谷派坊守会連盟委員会 真宗大谷派坊守会連盟の決算・事業報告並びに予算案・事業計画の審議等を行う。	正副会長	宗務所	7/22・23	—
教区坊守会総会 教区坊守会の前年度決算・事業報告並びに今年度予算案・事業計画の審議等を行う。	各組坊守 会長	京都教務所	7/14	—
真宗基礎講座(第10期Ⅲ) 真宗学・仏教学・声明作法の講習会及びフィールドワークを年10回に分けて開催。 なお、フィールドワークは別途参加者を募集。 講師：【真宗学】難波教行（教学研究所所員） 【仏教学】織田顕祐（教学研究所長） 【声明作法】松村大栄（本願部堂衆） 【教化学】織田顕祐（教学研究所長） 難波教行（教学研究所所員） 【フィールドワーク】	受講者	京都教務所	年10回	
教区坊守会交流研修会(丹但地区当番) 劇団きづつきの法話劇「色めがねが光る君へ」を鑑賞。鑑賞後にミニカフェを開催し、参加者の交流をはかる。	教区内坊守等	京都教務所	12/5	—
教区坊守会一日研修会(長浜特区当番) 出会いと交流の場になる一日研修会を行う。	教区内坊守等	山科別院	10/2	廣瀬 惺
真宗坊守会連盟 坊守研修会 全国の坊守を対象とした研修会。	—	真宗本廟	—	—
真宗坊守会連盟 若坊守研修会 全国の若坊守を対象とした研修会。	—	真宗本廟	—	—
近畿連区坊守会 一泊研修会(京都教区当番) 近畿連区の坊守を対象にした一泊二日の研修会。講題：「聞・問・開」という歩み。	—	都ホテル京都八条 しんらん交流館	2/26・27	乾 文雄
「坊守会だより」第48号発行	—	担当：湖南地区	6/1	—

(2)教区推進員連絡協議会<教区助成:650,000 円>

趣旨・内容	対 象	会 場	期日	講師
総会 前年度事業報告並びに収支決算報告、総括点検。 新年度事業計画並びに歳入歳出予算案の審議、議決。教区推連協の運営にかかる議案の審議、議決。	教区推連協役員 代議員	京都教務所	2025/07/17	—
総会研修会 総会に合わせて研修会を開催。	教区内 推進員	京都教務所	2025/07/17	平原晃宗 (山城第5組 正蓮寺)
役員会 庶務・調整・点検機関。教区推連協における諸課題について協議検討する。学習と情報共有の機会となる事業を企画検討する。全国・連区・組との連絡調整を行う。	役員	京都教務所	適宜	—
常任委員会(企画立案機関) 教区推連協における諸課題について協議検討する。学習と情報共有の機会となる事業を企画検討する。特区地区・組との連携を行う。広報活動を行う。機関紙『光雲』の編集を行う。	役員 常任委員	京都教務所	適宜 (年4回)	—
特区・地区研修会 テーマ「仏法に学ぶ出会いと交流」を共通テーマに据え、推進員を中心とした聞法場を開く。 毎年、特区+3地区で開催。	教区内 推進員 一般	長浜特区	2026/6/14 (予定)	未定
		湖西地区	2026/3 上旬	未定
		山城地区	未定	未定
		雲因地区	未定	未定
真宗同朋の会 全国交流研修会(九州教区当番)	推進員	同朋会館	10/8-10	吉元 信暁 (九州大谷短期大学長)
近畿連区推進研修会(大阪教区当番)	推進員	信貴山観光ホテル	5/25・26	酒井 義一 (東京教区 存明寺)
推進員再上山奉仕団 推進員の原点の一つである奉仕団を企画し上山する。出会いと交流の機会をつくり、つながりを深める。	教区内 推進員	真宗本廟 同朋会館	未定	未定
会報発行 機関紙『光雲』を発行。広域教区において、誌面による報告・連絡を行う。毎号 3,500 部発行。	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2025/09/01 2026/01/01 2026/05/01	—
全国推連協会報誌『羅網』 全推協より会報誌『羅網』を購入（毎号 3,500 部）、発送	教区内 推進員 全寺院	—	発行日 2025/09/01 2026/01/01 2026/05/01	—

(3) 教区児童教化連盟＜教区助成:80,000 円＞

趣旨・内容	対 象	会 場	期日	講師
総会 事業報告・事業計画・決算報告・予算計画	児連会員	京都教務所	未定	—
役員会 事業計画や運営に関する詳細の打ち合わせ	役員	京都教務所	随時	—
事業サポート 子ども会等の依頼に応じて、事業の手伝いをさせていただく。(行事手伝い・ゲーム・人形劇の上演など)教区内寺院との関係を深める。	一般	未定	必要に応じて	—
第 24 回 春の子ども本山参り (教区助成事業:100,000 円) 子ども達と一緒に本山へお参りする。真宗の教えに触れる機縁にする。会議を必要に応じて行う。	スタッフ： 児連会員・一般 参加：小学生	真宗本廟 (東本願寺)	2026/3 下旬予定	—
研修会 京都教区児童教化連盟研修会として子ども達と活動する際の注意点や触れ合い方を学ぶ。各寺院で子ども会を開く上で、役立つ知識や技術を学ぶ	児連会員 一般	未定	未定	—
人形劇等練習 人形劇等の技術向上(人形の作成・台本作成・練習)新規スタッフの獲得	児連会員	京都教務所	随時	—

(4) 教区仏教青年会＜教区助成:160,000 円＞

趣旨・内容	対 象	会 場	期日・回数	講師
公開講座 テーマ「グリーンケア」を学ぶ	仏青会員 一般	京都教務所	1 回	—
「仏花を通じて繋がる」 初心者向け仏花講座	仏青会員	各所別院	2 回	—
0 からはじめる声明教室 本山より堂衆の先生にご出講いただく。 初心者の方も基礎から丁寧に学べる場として開く。	仏青会員 一般	京都教務所	4 回	—
2025 年度総会 2025 年度事業の事業報告ならびに次年度の事業計画(案)、予決算の審議を行う。	仏青会員	京都教務所	1 回	—
清掃奉仕 山科別院、大津別院にて清掃奉仕。	仏青会員 一般	山科別院	2 回	—
		大津別院	1 回	—
法要出仕 常磐会館報恩講、その他未定	仏青会員	常磐会館等		—
常任委員会議 必要に応じて月 1 回執行部の会議を行う。	仏青執行部	京都教務所		—
親鸞ウォーク (教区助成事業:150,000 円) 親鸞聖人の足跡を巡るウォーキングイベント。内容は企画中。	親鸞ウォークスタッフ 仏青会員 一般	未定	4 月頃	—